



Cisco Nexus 9808 スイッチの概要

Cisco 9808 スイッチには、次のものが含まれます。

- Cisco 9808 は、複数の現場交換可能ユニット (FRU) での分散転送をサポートする 16-RU スイッチです。
- [Cisco 9800 Series スイッチ \(1 ページ\)](#)
- [ラインカードの概要 \(2 ページ\)](#)
- [スーパーバイザ モジュールの概要 \(2 ページ\)](#)
- [ファブリック モジュールの概要 \(3 ページ\)](#)
- [温度仕様と物理仕様 \(3 ページ\)](#)
- [重量および消費電力 \(3 ページ\)](#)
- [エアフローの方向 \(4 ページ\)](#)
- [スイッチに使用可能な最大電力 \(4 ページ\)](#)
- [サポートされているオプティカル モジュール \(6 ページ\)](#)

Cisco 9800 Series スイッチ

次の表に、Cisco 9808 スイッチのコンポーネントとサポートされている数量を示します。

表 1: Cisco Nexus 9808 スイッチのコンポーネント

コンポーネント	数量
ラインカード	8
スーパーバイザモジュール	2
ファブリック モジュール	8
ファントレイ	4
電源トレイ	3

コンポーネント	数量
電源装置	HVAC/HVDC : 9 (トレイあたり 3) DC60 : 12 (トレイあたり 4)

ラインカードの概要

Cisco Nexus 9800 スイッチは、次のラインカードをサポートしています。

表 2: サポートされるラインカードおよびトランシーバ

ラインカード PID	トランシーバ
N9K-X9836DM-A	QSFP-DD/QSFP28/QSFP+
N9K-X98900CD-A	QSFP-DD/QSFP28/QSFP+

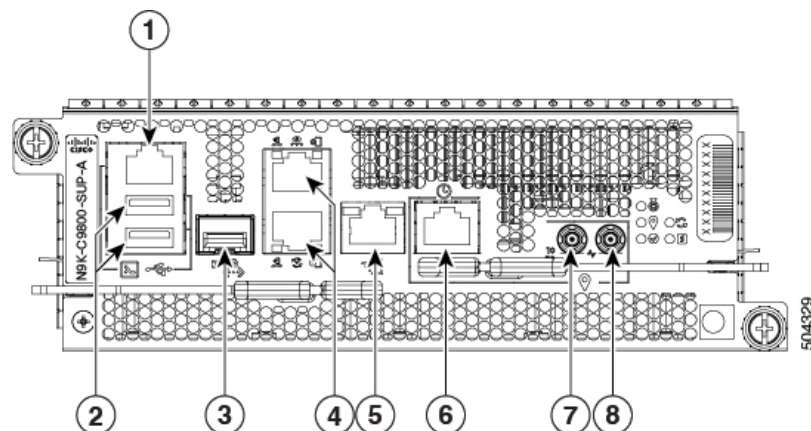


- (注) イジェクトボタンのロックを解除してから、ラインカードを取り外さずに再度ロックすると、ラインカードの電源が切れます。ラインカードに電源が入らず、コマンドラインインターフェイスに **電源オフのモジュール** は表示されません。ラインカードの電源を入れるには、OIR を実行する必要があります。

スーパーバイザ モジュールの概要

Cisco Nexus 9800 スーパーバイザモジュール (N9K-C9800-SUP-A) は、Cisco Nexus 9800 シリーズスイッチのすべてのコントロールプレーン機能を管理します。

図 1: スーパーバイザ モジュール



1	コンソール RS-232 シリアルポート RJ45	5	SyncE BITS/DTI/J.211
2	USB ポートタイプ A (2 ポート)。ポート A は、ポート B の前に検出されます。 上位：ポート B 下位：ポート A	6	G.703 Time-of-Day (TOD)
3	コントロールプレーン拡張 SFP/SFP+ ポート	7	10 MHz、入力、および出力用の 1.0/2.3 50 オームコネクタ
4	上位：管理イーサネット (10/100/1000 Mbps) RJ-45 (銅線) ポート LAN 下位：IEEE 1588 Precision Time Protocol (PTP)	8	1 PPS、入力、および出力用の 1.0/2.3 50 オームコネクタ

ファブリック モジュールの概要

Cisco Nexus 9808 スイッチは、以下のファブリック モジュールをサポートします。

- N9K-C9808-FM-A : Cisco Nexus 9808 ファブリック モジュール

温度仕様と物理仕様

温度仕様と物理的仕様については、[Cisco 9800 シリーズ スイッチ データシート](#)の寸法および重量の表を参照してください。

重量および消費電力

シャーシの寸法と重量については、次の表を参照してください。

重量	無搭載時：73 kg (162 ポンド) フル搭載時: 299 kg (658 ポンド)
寸法	(H) 71.12 × (W) 44.32 × (D) 85.7 cm (28 x 17.45 x 33.73 インチ)
ラックユニットの数	16 RU

消費電力については、[Cisco Nexus 9800 シリーズ スイッチ データシート](#)を参照してください。

エアフローの方向

施設内のスイッチに適切なエアフローを確保するために、スイッチの吸気口をコールドアイルに、排気口をホットアイルに配置します。

スイッチに使用可能な最大電力

動作に使用できる最大電力量は、電源からの入力電力、電源モジュールの数と出力性能、および使用する電源の冗長化モードによって異なります。

次の表に、Cisco 9800 シリーズ スイッチで使用可能なすべての電源トレイから使用可能な電力量を示します。

表 3: HVAC/HVDC 電源を備えたスイッチで利用可能な最大電力

総電力供給	複合モード (ワット単位) (冗長性なし)	N+1 冗長モード (ワット単位) (単一電源損失あり)	総電源トレイ
1	6,300	—	1
2	12,600	6,300	
3	18,900	12,600	
4	25,200	18,900	2
5	31,500	25,200	
6	37,800	31,500	
7	44,100	37,800	3
8	50,400	44,100	
9	56,700	50,400	

表 4: DC60 電源モジュール

総電力供給	複合モード (ワット単位) (冗長性なし)	N+1 冗長モード (ワット単位) (単一電源損失あり)	N+N 冗長モード (ワット単位) (単一フィード損失あり)	総電源トレイ
1	4,400	—	2,200	1
2	8,800	4,400	4,400	
3	13,200	8,800	6,600	
4	17,600	13,200	8,800	
5	22,000	17,600	11,000	2
6	26,400	22,000	13,200	
7	30,800	26,400	15,400	
8	35,200	30,800	17,600	
9	39,600	35,200	19,800	3
10	44,000	39,600	22,000	
11	48,400	44,000	24,200	
12	52,800	48,400	26,400	

表 5: DC100 電源モジュールを搭載したスイッチで利用可能な最大電力

総電力供給	複合モード (ワット単位) (冗長性なし)	N+1 冗長モード (ワット単位) (単一電源損失あり)	N+N 冗長モード (ワット単位) (単一フィード損失あり)	総電源トレイ
1	4,800	—	2,400	1
2	9,600	4,800	4,800	
3	14,400	9,600	7,200	
4	19,200	14,400	9,600	
5	24,000	19,200	12,000	2
6	28,800	24,000	14,400	
7	33,600	28,800	16,800	
8	38,400	33,600	19,200	

総電力供給	複合モード（ワット単位）（冗長性なし）	N+1 冗長モード（ワット単位）（単一電源損失あり）	N+N 冗長モード（ワット単位）（単一フィード損失あり）	総電源トレイ
9	43,200	38,400	21,600	3
10	48,000	43,200	24,000	
11	52,800	48,000	26,400	
12	[57,600]	52,800	28,800	

サポートされているオプティカル モジュール



(注) このスイッチでサポートされるトランシーバとケーブルを確認するには、『Transceiver Module Group (TMG) Compatibility Matrix Tool』を参照してください。

<https://tmgmatrix.cisco.com/home>

- QSFP-DD のデータシートについては、『Cisco 400G QSFP-DD Cable and Transceiver Modules Data Sheet』を参照してください。
- QSFP28 のデータシートについては、『Cisco 100GBASE QSFP-100G Modules Data Sheet』を参照してください。
- QSFP+ のデータシートについては、『Cisco 40GBASE QSFP Modules Data Sheet』を参照してください。
- QSA を使用する 10G については、『Cisco 10GBASE SFP+ モジュール データ シート』を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。